

## ～ 参加した皆さんの感想 ～

紙面の都合上、一部の掲載となります。申し訳ございません。

- ◆今日は、あらためて自分の住む真土のことを考えさせられました。こんなふうに、郷土愛を感じながら、今あるかんきょうに満足しながら、毎日をすごしたことがなかったので、今日のこの集まりに参加できて、本当によかったと思います。ありがとうございました。
- ◆なにげなく生活している場所について、こんなにもいろいろな思いがある所だとは知らなかった。多数の参加者がたが、宝物を感じる事はだれもが同じなんだと思った。
- ◆真土を見直す機会があり、楽しい時間を持つことができました。ありがとうございます。
- ◆公園のカギの話等、ディスカッション形式での良さがあったと思った。市民委員さん、市の担当者がグループ内のディスカッションを上手にリードしてくれてよかったと思う。グループ討議で自分の気付かない新しい視点からの意見が聞けて良かった。
- ◆真土の未来を論ずるのであれば、もっと若い人の参加があってもよかったのではないだろうか。PRの不足だったかも知れない。
- ◆今度は大切に作る物・事を地区で話し合い実行するよう心がけましょう。磨けば光るもの沢山有ると思います。地元の講師の発掘を是非。
- ◆グループ討議は大変な意義があり、成果があった。新しい住民の意識を知る機会になったと思う。これを機会にして更に前進して欲しい。関係者の人たちに感謝したいと思います
- ◆地域内の集まりで、地域の分析？をする事なんて、まず無いので、今日の会はドキドキだったけど、終わってみれば楽しかったです。残念なのは、集まる人がもっと多様だったら良かったのと思います。
- ◆チラシが家に来て、どのような会なのか興味があって参加をしました。講師の方のコーディネートが大変よく、各グループの発表も大変よかったと思います
- ◆この大好きな真土がすべての人にとって大好きな真土になるよう、人と人とのつながりを幾重にも作っていったらなあと思います。真土再発見のよい機会をありがとう!!
- ◆真土に住んで子供も独立し、ひさしぶりに皆さんの意見を聞くことが出来、わすれていたことを思い出しました。真土のよい所を多く知り、たのしかったです。今後たのしく生きていく目標がいろいろみつかりそうです。
- ◆歴史と自然に恵まれた、そして医療が加わり真土という地域を再認識した会合でした。この核になるものは、やはり住民の「心」ではないでしょうか。
- ◆今までにない社明運動の形で、貴重な時間を過ごせたと思う。やっぱり我が町真土はいいなと感じた。地域の底力を大事にしながら、若い人達につなげ、ネットワークを広げていけたらいいなと思う。
- ◆この機会に真土の全体を見ることができ、また皆さんが同様のことを認識されていることが判った。今後は、“あるものを磨き”の行動ができるように努力して行きたい。

### 【自治基本条例・市民委員さんの感想】

- ◇これだけ多くの方が参加されることでも、お話を聞かせていただいた内容からも、真土の皆さんが地域を愛し、誇りを持っておられる熱意が感じられました。ありがとうございました。
- ◇平塚にずっと住んできたけど、地域の詳しい歴史は知らない事が多い事を実感した。その地域、地域に根付いて生きてきた地域に対する愛情のこもった話を多く聞く事が出来た。真土だけではなく、その他の地域でもそれぞれの話があり思いがあり、それが集まって平塚というまちが出来あがってるのだと感じる夜で、他の地域の話も、もっと聞きたいと思った。自分の住む地区も改めて振り返ってみたいと思う。
- ◇真土地区の素晴らしいコミュニティに感心しました。自治基本条例には是非共、住民の心意気、豊かさ、そして自立力を盛り込んでいきたいと思いました。
- ◇市民委員会にない居心地の良さってなんだろう？！地域の皆さんが積極的で明るい、民主的な！人とのつながりを大事にしているのが感じ取れた。ここに参加させてもらって、「では自分の住んでいる地域活動はどうなのかな」と考え、改めて関心を持たなければと実感した。市民委員会でも地域に出向く必要性を痛感した。
- ◇改めて、真土地区のよさを挙げてみて、地区を見つめることができ、「自分の地区は？」と考える機会になった。ワークショップ形式が活かされた面白い討論でした。講演、グループ討議が一体となった「肩がこらない、しかも有意義な」2時間半でした。

## 報 告

# 真土から発信！元気な平塚

みんなで考えよう、おとなりどうしでひろく

「真土の未来！」

平成16年12月  
真土地区社会福祉協議会

11月16日、真土地区の地域づくりについて考える  
ワークショップが開催されました。

11月16日(火)、大野公民館にて、夜7時から3時間弱にわたり、「真土から発信！元気な平塚」という上記タイトルのテーマで、地域について考えるワークショップが開催されました。今回は、まちづくりワークショップの専門家である大久手計画工房・伊藤雅春氏を講師に迎えました。この取り組みは、元々は真土地区社会福祉協議会の社明事業として行ったものですが、現在市民参加で検討進められている平塚市自治基本条例との関連も意識して企画されています。

参加者は、真土地区住民30数名と、自治基本条例の市民委員さん13名、自治基本条例担当の市職員4名でした。

ワークショップでは、まず、「旗揚げアンケート」で、真土地区のコミュニティの現状と、地域と行政の関係という2つの質問を参加者の皆さんに投げかけました。(結果は右)

続くグループディスカッションでは、「ないものねだりは愚痴、あるもの磨きが自治」というキーワードから、8つのグループで「真土地区の7つの宝物」について話し合いました。(結果のまとめは2～3ページ)

真土地区では、ワークショップでの話し合いは初めてでしたが、和気あいあいとした雰囲気が進められました。参加した方からは、「お互いの考えを知ることができた」「地域のよいところを再発見できた」などの感想をいただきました。今後の取り組みにも活かしていきたいと思います。



## 「旗揚げアンケート」の結果

### 設問1 真土地区のコミュニティについてお聞きします

1. 真土地区は住みやすい地区だと思う。私は真土地区が大好きである。	(人) 18
2. 真土地区のよさは長く暮らしてみないとわからないと思う。真土地区は奥が深いまちだ。	6
3. 昔の真土地区は今よりもっと住みやすいコミュニティだったと思う。真土地区も急速に変わりつつある。	4
4. 真土地区の良さをまだ本当に知らないのかもしれない。もっと地域に関わっていききたいと思う。	7
5. その他	3

### 設問2 真土地区と行政の関係についてお聞きします

1. 真土地区だけで解決できることは限られている。もっと頼りになる行政になって欲しい。	(人) 8
2. 行政との関係は、つかず離れずが大切だと思う。真土地区の自立性を大切にしていきたい。	12
3. 行政に頼るのではなく、真土地区自身で解決できることを広げていくことが重要だと思う。真土地区にはそれができる力がある。	4
4. 行政のことは、少し遠い存在でよくわからない。いざというときに頼りになるのはやっぱり地域だと思う	12
5. その他	1